

明石学園のあゆみ

—令和 8 年度 事業概要—



児童自立支援施設

兵庫県立明石学園

は じ め に

今から 117 年前の明治 42 年（1909 年）、現在の県立明石学園の地に、前身である県立土山学園が創設されました。当学園は、本県における児童福祉の歩みとともに歴史を重ねてきた機関の一つです。創設当時、この地は赤土の広がる原野で、小さな松が群生し、夜には狐の鳴き声が聞こえる自然豊かな環境であったと伝えられています。

当学園の施設種別は、創設時の感化法に基づく「感化院」にはじまり、少年教護法による「少年教護院」、児童福祉法による「教護院」を経て、現在の「児童自立支援施設」へと変遷してきました。また、施設名称も、「県立土山学園」「県立農工学校」を経て、現在の県立明石学園へと改称しながら、これまでに約 6,700 人を超える、いわゆる非行少年と呼ばれるこどもや、家庭環境等から生活指導を必要とするこどもたちを受け入れ、社会へと送り出してまいりました。

さて、第 2 次世界大戦の終戦から長い年月が過ぎ、我が国は大きく発展し、モノや情報が溢れる社会となりました。その一方で、児童虐待やいじめ、DV の増加など、こどもや家庭を取り巻く深刻な問題は後を絶ちません。少子化や核家族化の進行により、家族の絆や地域のつながりの希薄化が、その背景にあるものと考えられます。

当学園では、「小舎夫婦制」のもと、夫婦職員が各寮舎において家庭的な環境を築き、共同生活の中で、基本的生活習慣の習得をはじめ、学習やスポーツ・文化活動、農園芸作業などを通して、こどもたちの自立を支援してまいりました。

近年は、社会の変化を背景に、家庭で虐待を受けたこどもや、知的な遅れや発達の違い、さらには愛着形成に課題を抱えるこどもの入所が増加しています。こうした現状を踏まえ、私たちは「こどもの育ちの連続性」を重視し、一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、その思いや願いに寄り添いながら、退園後の将来を見据えた支援を行っていくことが求められています。

今後におきましても、当学園は、こどもにとって安心して過ごすことのできる「居場所」であり続けるとともに、すべてのこどもが尊重され、健やかに成長できる環境の整備に努めてまいります。また、こどもの権利擁護の一層の充実・強化を図り、こども自身の意思決定を支え、自らの人生を主体的に切り拓く力の育成に取り組んでまいります。

引き続き、当学園の運営に対し、皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 6 月

兵庫県立明石学園長 稲田 直彦

運 営 理 念

私たち職員は、こどもたちを「変えよう」とするのではなく、こどもたち自身が「変わろう」とするところを育み、支援していきます。

基 本 方 針

1 生命の尊重

私たち職員は、一人ひとりのこどもがかけがえのない命を持ち、無限の可能性を持っている存在として大切にします。そのため、こどもたち自身が自分を大切にするだけでなく、他の人も大切にし、生き甲斐を実感できるように支援します。

2 こどもの最善の利益

私たち職員は、一人ひとりのこどもの最善の利益を第一に考え、学園での生活を通して、こどもの自立及び自己実現のために、こどもの生活の質の向上に努力します。

また、私たち職員は、小舎夫婦制による支援を基本に、常にチームワークを心がけ、学園全体として補完するとともに、自己研鑽・自己評価を行い、常に自らの専門性と資質の向上を高めるよう努力します。

3 こどもの権利擁護の推進

私たち職員は、児童の権利に関する条約を遵守し、いかなる差別・虐待・人権侵害、特に職員のこどもに対する体罰、こども間のいじめ、暴力を許さず、こどもの権利を擁護するための取組を推進します。

特に全職員の共通認識のもと、こどもの人格を尊重するとともに、こどもの年齢および発達の程度に配慮した支援に努め、いかなる場合においても、身体的及び心理的な苦痛を伴う行為やわいせつな行為、こどもに対する威圧的な言動、不公平なふるまい、無視などすべての不適切な関わりを行いません。

4 こどもの成長・発達への支援

私たち職員は、こどもが基本的な生活習慣や道徳観を身につけ、発達年齢に相応しい正義感や責任感が持てるよう支援します。

5 こどもの自立への支援

私たち職員は、こどもの発達年齢に応じた学力や生活技術の習得、そして、こどもたちの能力や希望を尊重した進路選択を支援します。

6 プライバシーの尊重と個人情報の保護

私たち職員は、一人ひとりのこどもや保護者のプライバシーを尊重するとともに、職務上知り得た個人情報を漏らしません。

目 次

1	施設の概要		
(1)	目 的		1
(2)	名称 ・ 所在地等		1
(3)	沿 革		1
(4)	職 員		1
(5)	建 物		2
	建物配置図		2
	建物平面図		3
2	運営方針		4
3	業務概要		
(1)	自立支援指導		5
(2)	文化とのふれあい体験活動		6
(3)	中学卒業生教室の運営		6
(4)	給 食		7
(5)	児童の権利擁護の取組		8
(6)	心理支援		9
(7)	職員専門研修参加状況(令和7年度)		10
(8)	実習生の受入状況(令和7年度)		11
(9)	日 課		12
(10)	年間行事予定(令和8年度)		13
4	学校教育の実施		
(1)	明石市立魚住中学校 分教室		15
(2)	明石市立清水小学校 分教室		15
5	令和7年度の実績		
(1)	月別在籍人数の年度推移		16
(2)	月別実人数の年度推移		16
(3)	学年別在籍人数の年度推移		17
(4)	こども家庭センター別入所人数の年度推移		17
(5)	在籍児童の入所時の学年別人数		18
(6)	在籍児童の入所理由別人数		18
(7)	在籍児童のこども家庭センター・出身地別人数		18
(8)	在籍児童の保護者の状況(入所時)		19
(9)	在籍児童の被虐待状況の年度推移		19
(10)	入所児童の障害等状況の年度推移		19
(11)	問題行動等報告の年度別内訳		19
(12)	無断外出の発生状況の年度推移		20
(13)	退所児童の在籍期間の年度推移		20
(14)	退所理由の内訳の年度推移		21
(15)	中学卒業生進路の内訳の年度推移		21
6	行事 ・ クラブ活動		
(1)	主要行事等一覧(令和7年度)		22
(2)	クラブ活動の成績(近畿・全国大会)		24

1 施設 の 概 要

(1) 目 的

明石学園は、児童福祉法第44条に基づく「児童自立支援施設」であり、「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行いその自立を支援することを目的」としている。

(2) 名 称 ・ 所在地等

- ・ 名 称 兵庫県立明石学園
- ・ 所 在 地 明石市魚住町清水2744
- ・ 入所定員 暫定定員52名(令和8年度)
- ・ 敷地面積 90,279.06平方メートル

(3) 沿 革

明治42年 3月 1日 感化法に基づき「感化院」創立
名称を「兵庫県立土山学園」とし入所定員100名で発足

昭和 9年10月10日 少年教護法の施行により、「少年教護院」となり、「兵庫県立農工学校」と改称

昭和23年 1月 1日 児童福祉法の施行により、「教護院」となる。

昭和26年 7月10日 市町村合併により「兵庫県立明石学園」と改称

昭和44年 7月 1日 入所定員130名となる。

昭和46年 4月 1日 学校教育法による「学校教育」を導入(部分的)

昭和62年 4月 1日 「分教室」を設置

平成 2年 4月 1日 特別指導寮「くすのき館」の運営を開始

平成10年 4月 1日 児童福祉法の改正により、「児童自立支援施設」となる。

平成21年10月31日 創立100周年記念式典を開催

(4) 職 員

(令和8年4月1日)

区 分		事 務 職	児童自立支援専門員等	児 童 心 理 職	調 理 員	計	会計年度任用職員等								
							栄養指導業務	調理員	営繕用務事務	清掃用務事務	庁舎管理事務	児童生活支援事務	臨時的任用職員	計	合 計
職 員 数	総 務 課	4			3	7	1	2	1	1	3			8	15
	教務第1課		9	1		10						2	1	3	13
	教務第2課		8			8						2	2	4	12
	合 計	4	17	1	3	25	1	2	1	1	3	4	3	15	40

(注) 1 園長は、総務課事務職に含む

2 魚住中学校分教室(11名)、清水小学校分教室(2名)の教員は除く。

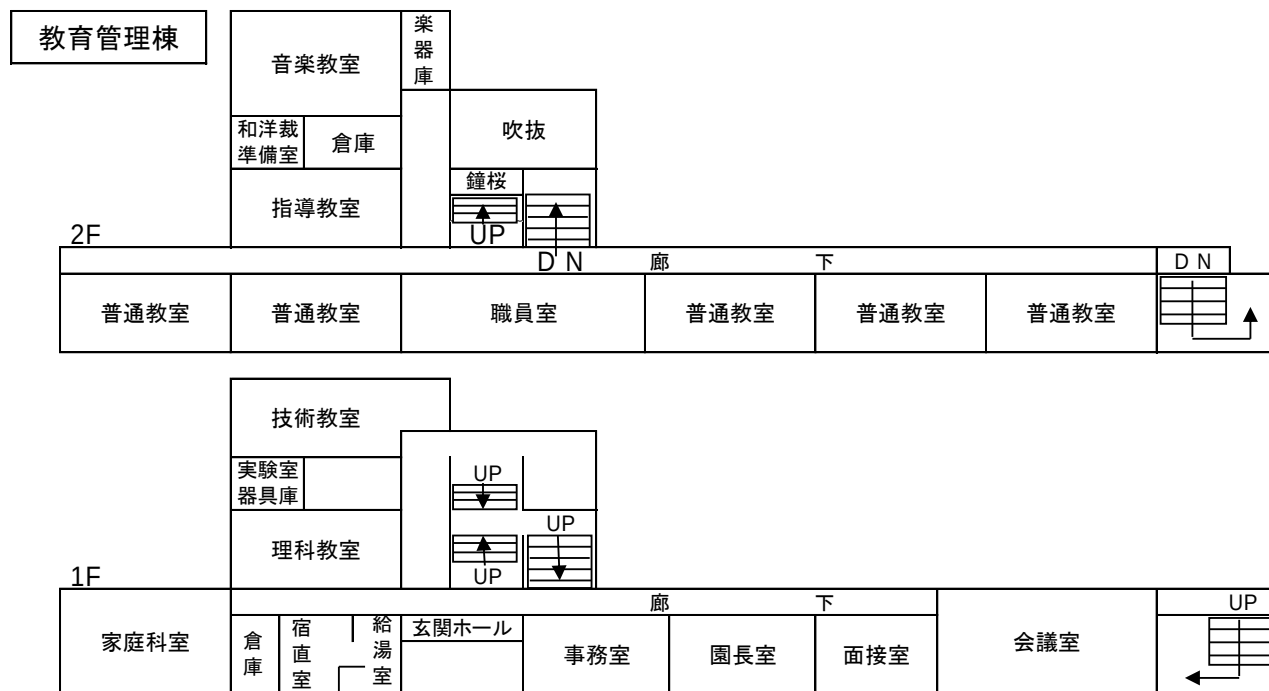
単位: m^2

名 称	建 面 積	延 床 面 積	建 築 年 月 日	備 考
教育管理棟	439.60	870.22	S53. 3.31	教室、園長室他
は る か 寮	264.75	264.75	H 1. 3.31	日常生活寮(男子年長児)
紅 葉 寮	264.99	264.99	H 3. 3.31	日常生活寮(女子)
さ く ら 寮	264.99	264.99	H 4. 2.25	日常生活寮(男子)
五 月 寮	265.47	265.47	H11. 8. 2	日常生活寮(女子)
白 梅 寮	265.47	265.47	H13. 3.29	休止中
木 葉 寮	261.27	261.27	H23. 2.21	日常生活寮(男子)
葵 寮	261.27	261.27	H23. 2.21	日常生活寮(男子)
くすのき館	713.52	713.52	H 2. 3.31	特別指導寮(男子交替寮)
くすのき南寮	265.47	265.47	H 5. 3.29	特別指導寮(女子交替寮)
職業指導棟	118.00	118.00	H 1. 3.31	
旧講堂兼体育館	695.57	695.57	S54. 3.31	
新体育館兼講堂	853.56	939.00	H28. 3.25	
調 理 棟	210.17	192.84	H31. 1.30	
そ の 他	459.84	459.84	—	—
計	5,603.94	6,102.67	—	—

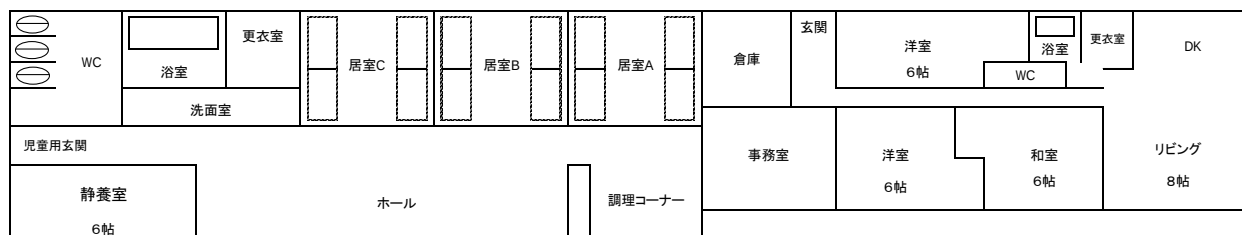
【建物配置図】



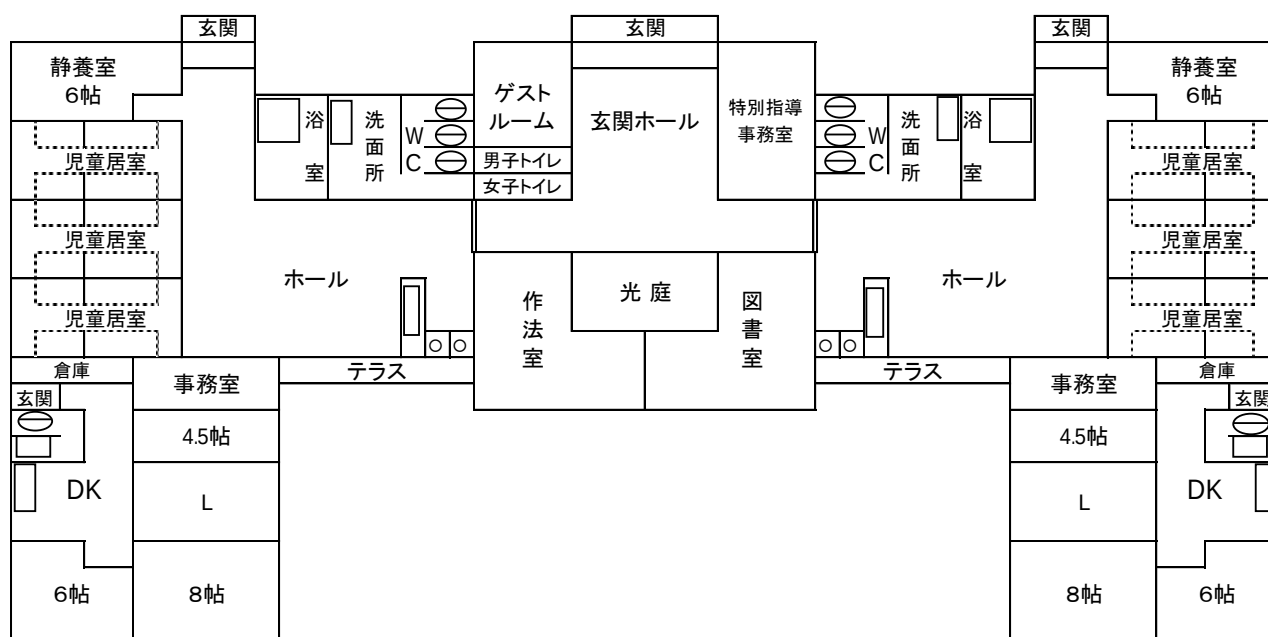
[建物平面図]



日常生活寮(葵寮)



特別指導寮(くすのき館)



2 運 営 方 針

- (1) 明石学園においては、指導の基盤を「小舎夫婦制」におき、寮舎は児童の基本的生活の場であり、寮ごとに形成される児童の集団は、施設生活の単位集団となっている。

寮担当の職員は、夫婦（児童自立支援専門員・児童生活支援員）であり、家族ぐるみで寮舎に居住し、保護者に代わって日々の暮らしの中で児童の情緒安定を図り、全人格を育てることにより児童の“自立支援”を行っている。

- (2) 「小舎夫婦制」の家庭的な雰囲気の中で、職員と児童が生活を共にし、児童が楽しく規律正しい学園生活を送ることができるよう、日々の生活、学校教育、クラブ活動、農園芸・作業指導等を通して、児童の特性に応じた指導を行い“児童の権利を擁護”しながら、“児童の最善の利益”を求めている。



農園芸作業



◀ 日々の生活
(犬の散歩)

余暇
(サッカー観戦) ▶



- (3) 入所してくる児童の多くは、乳幼児期の発達過程でつまずきがみられ、基本的な信頼関係の構築が不十分なため情緒面で安定を欠き、家庭・地域で落ち着いた生活が送れていない。

学園では職員と児童の絆を基本に、基本的な生活習慣の習得や家族との再構築を図る「育ち直し」の場となるよう、また、将来の自立につながるよう、次の点に留意しながら運営を行っている。

- ① 児童の情緒を安定させるため、家庭的な雰囲気の中で生活し、良好な人間関係を体験させる。
 - ② 社会生活に必要な生活習慣を身につけさせるため、規律正しい生活を積ませる。
 - ③ 問題行為等を繰り返さないよう、人や物を大切にす優しい気持ちを育みながら、児童の倫理感を育てる。
 - ④ 児童の学習指導に重点をおくとともに、学校や家族等と協力して、進路指導を充実させる。
 - ⑤ クラブ活動を奨励し、自主性・協調性を育てるとともに、達成感・自己肯定感を体得させる。
 - ⑥ こども家庭センター等関係機関と連携を深め、計画的な自立支援にあたる。
- (4) 児童の自立支援計画については、児童一人ひとりのアセスメントに基づき、処遇検討会や嘱託精神科医とのケース研究、児童相談所との協議を踏まえた上で、策定や定期的な評価・見直しを行うとともに、児童にも説明を行う。
- (5) 児童の権利擁護を図るため、入所児童やその保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため苦情解決体制を整えるとともに、入所児童が自由に意見や苦情を申し立てられるよう意見箱の設置、学園生活へのアンケートを行う。また、入所児童が、学園内でより快適な生活ができるよう寮代表者と職員が話し合う寮代表者会議を開催する。

3 業 務 概 要

(1) 自立支援指導

自立支援指導は、一人ひとりの児童の特質、特徴を踏まえながら、毎日の日課と行事を通して実践している。

項 目	目 的 ・ 内 容
生活指導	情操教育や余暇・作文・保健衛生指導を通して、規律正しい生活と社会生活に必要なマナーを習得し、健全な社会生活を営むために必要な人格を形成
学習指導	社会生活を営むために必要な学力を習得し、高校進学等に意欲のある児童には、補習等を実施
ク ラ ブ 活動指導	クラブ活動に取り組むことによる、「助け合う気持ち」「思いやる心」「最後までやりぬく力」の涵養 【クラブ】野球・バレーボール・卓球・陸上・美術・陶芸・茶道・家庭科  野球部  バレーボール部  美術部  家庭科部
農 園 芸 作業指導	自然に親しみながら、庭の手入れや野菜、果樹、花等の栽培、収穫を行い、食する喜びまでの過程をととした達成感の育成  苗の植え付け  収穫した野菜

(2) 文化とのふれあい体験活動

自立支援の重点課題である児童の情操教育を育てるため、外部の専門講師による特別指導事業として、文化とのふれあい体験活動を実施している。

項 目	活 動 内 容	活動回数 (R7 実績)
食文化体験	おせち、クリスマスケーキ、お弁当などの季節の料理を作り、食べることを楽しむことにより生活を豊かにする	36 回
良書体験	読書、硬筆書きかた、読み聞かせ、朗読劇披露を通して、多くの書物に親しみ、楽しみながら人生を学ぶ体験	36 回
茶道体験	礼儀作法、茶道の点前を習得し、行事の茶会での点前披露などすることにより社会や生活を考える	30 回
生活体験	【折紙製作】 折紙作品制作による達成感の獲得体験 【性教育】 助産師等による性教育を受講し、性の正しい知識、意思決定や行動選択を学ぶ 【命の教育】 救命救急の看護師による AED や命の教育を受講し、命の大切さ、命を守ることを学ぶ 【野球指導】 外部コーチから技術指導を受け、野球への理解と親和を深める 【インターネット研修】 青少年センター職員の講話を聞き、インターネットを介した交流の危険やゲーム依存について学ぶ 【薬物乱用防止教室】 少年サポートセンター職員の講話を聞き、違法薬物、薬物依存について学ぶ 【交通安全教室】 明石警察署職員の交通安全講話と自転車を用いた安全運転指導 	35 回 6 回 1 回 6 回 1 回 1 回 1 回
音楽体験	【創作エイサー体験】 沖縄の伝統芸能であるエイサーを学び、体育祭等でその演舞を披露する  【盆踊り会】 日本の伝統文化の一つである盆踊りを体験するとともに、夏祭りとして近隣住民を招いて交流を図り、学園活動への理解を促進する 	6 回 2 回

(3) 中学卒業生の自立支援

令和 7 年度は男子 5 名、女子 4 名が明石学園より高校に通学した。男子については高校生専用のはるか寮が設置されている。

過年度受験をする児童の学習機会の確保のため、中卒教室を運営している。またアルバイトや就労に向けての職業の指導の場として作業部を設置し、園内の修繕や環境整備、園内行事の準備や補助を担うことで就労支援を実施している。

(4) 給 食

毎日提供する給食は、入所児童の健全な発育と健康の維持増進となることから、栄養のバランスや四季折々の旬の食材を取り入れながら調理している。

また、各寮の畑から収穫した野菜を使ったメニュー、各都道府県の郷土料理やソウルフードの提供、寮ごとのリクエストメニューの実施、季節の行事を開催するなど、食事を楽しめる工夫も行っている。

行 事 等	内 容 等
5月 おいしい会	各寮で収穫した農作物を活かした料理やお楽しみメニューなどで、児童や職員が一堂に会して、楽しむ食事会とする。 
8月 盆踊り会	からあげ、ポテトチップス(園で収穫したもの)、アイス、ジュースなどを提供してお祭り気分を出すことで、夏季期間中の児童の生活に変化をもたらすとともに、地域交流の機会とする。
12月 もちつき会	児童が楽しく雑煮用の餅つきをし、季節を感じるとともに、帰宅訓練時の家族での話題づくりとする。 
1月 正月	おせち料理を通して伝統的行事を学び、児童の1年の健康を願う。
2月 節分	兵庫県の特産品である海苔等の食材を恵方巻き、手巻き寿司にして伝統的行事を楽しむ。
3月 お疲れ様会	クラブ活動や学園での生活を振り返りながら、お楽しみメニューを味わい、楽しむ。
特別なメニュー	おいしい会  韓国料理 郷土料理  毎月、都道府県の郷土料理を提供 リクエストメニュー  寮ごとの希望メニューを給食として提供

(参 考) 学園で栽培している農作物

春 サニーレタス・ほうれん草・じゃが芋・スナッペン・さくらんぼ・玉ねぎ・いちご

夏 きゅうり・玉ねぎ・イタリアントマト・青梅・スイカ・マスクメロン・プリンスメロン

秋 さつまいも・大根・京ねぎ・里芋・栗・柿

冬 大根・ほうれん草・里芋・サニーレタス・白菜・人参

※ 作付けから収穫まで児童が参加し、この収穫物の一部は給食材料としても活用しています。



(5) 児童の権利擁護の取組

入所児童の権利侵害を防ぐために以下の取組を実施している。

① 意見箱の設置

本館、体育館、図書室の3箇所に意見箱を設置し、入所児童が自由に意見や苦情を投函できる。投函された意見や苦情については、園長及び苦情受付担当者が投函者から話を聞き、問題解決を図る。内容によっては、苦情解決第三者委員にも報告の上、助言に基づき解決を図る。

② 「学園生活についてのアンケート」の実施

職員による施設内虐待や児童間のいじめ等を防止し、児童の権利擁護を推進するため、入所児童を対象に年2回、アンケート調査を実施する。

③ 寮代表者会議の実施

入所児童が、学園内でより快適な生活ができるよう、年に1回、寮担当職員と児童が寮内会議を実施し、改善してほしいことや要望などを話し合い、その結果をもって寮代表児童と園長、副園長、教務第1課長、教務第2課長で協議を行う。

④ 「苦情解決システム」について

社会福祉法第82条及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第14条の3に基づき、入所児童やその保護者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために苦情解決体制を整えている。

- 苦情解決を図るため、学園内に苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決第三者委員を設置する。
- 苦情解決責任者は園長とし、苦情受付担当者は教務第1、第2課長とする。
- 苦情解決第三者委員は、苦情解決に社会性や客観性を確保し、児童の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、弁護士や学識経験者、民生委員等から選任している。なお、苦情の有無にかかわらず、年1回の定例会議において、情報交換や意見交換等を行っている。

⑤ 「こどもの権利擁護のための意見表明支援事業」について(児童家庭課事業：令和4年4月1日から措置児童に拡大)

一時保護や施設入所措置・里親委託等に係る児童から第三者への意見表明の申し出があれば、兵庫県弁護士会に「意見表明支援員(弁護士)の派遣を依頼し、児童の面接を実施する。

- 児童は、「あなたの未来を開くノート」にある「はがき」、又は直接の電話等から意思表明の申し出ができる。
- 意見表明支援員(弁護士)が、児童との面接の結果、報告書を作成し、案件の内容に応じて、関係機関が協議を行い、その結果をこどもに伝えるなどの対応を行う。

(6) 心理支援

心理療法担当が、入園直後に児童に対して、他者との境界線を明確にし、学園内でのルールを児童と共有するためにバウンダリー教育を寮担当職員とともにやっている。また、個別面接では、入所前の問題行動の振り返りや、困りごとなどを丁寧に聞き取り、支援や退園後の生活につなげている。

ソーシャルスキルや自己他者理解、性教育などを学ぶためにグループワークを実施し、他児の意見を聞きながら自分の考えを振り返る機会を持ち、良好な対人関係や正しい性の知識が持てるよう支援している。

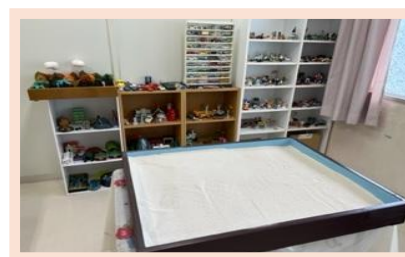
心理支援実施状況														単位：件
区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接	入園時面接	2	3	3	1	2	2	4	3	0	0	1	1	22
	定期面接	16	18	17	22	15	20	16	13	27	28	24	24	240
	退所決定時面接	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	7	4	16
	アフターケア	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	19	21	20	25	17	22	20	16	30	28	32	29	279
	うち 被虐待児	17	17	18	20	15	19	18	15	25	26	27	24	241
	うち 指導困難児	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
バウンダリー教育※1		3	4	1	3	2	4	1	2	0	0	2	2	24
グループワーク実施回数 (実人員) ※2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2(6)	1(3)	3(9)
心理検査	知能検査・発達検査	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	人格検査	1	1	0	0	1	3	7	5	1	0	0	2	21
	その他の検査	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	3	0	0	1	3	7	5	1	0	0	2	23

※1 入園直後の児童を対象に自他の物理的・心理的・社会的境界線を明確にし、学園内でのルールを児童と共有する目的で実施。

※2 小集団でソーシャルスキルや自己他者理解、性教育などを学ぶことを目的に実施。



カウンセリングルーム



箱庭

(7) 職員専門研修参加状況(令和7年度)

職員の資質向上、専門知識の習得を図り、児童の自立支援に活かすため各種研修に参加している。

研 修 名	開 催 場 所	開催日	参加人数
全国児童自立支援施設職員研修 「新任施設長研修(前後期)」	国立武蔵野学院(前期) 国立きぬがわ学院(後期)	5月13～15日 10月21～23日	1
近畿児童自立支援施設協議会 「前期研修」	明石学園	6月13日	39
園内研修「児童相談所の行動原則と児童虐待」	明石学園	6月17日	16
園内研修「児童福祉施設(明石学園)の経理について」	明石学園	7月4日	20
全国児童自立支援施設職員研修 「新任職員研修」	国立武蔵野学院	7月23～25日 2月3～5日	1
近畿児童自立支援施設協議会 「次世代育成研究会」	神戸市立若葉学園	9月5日	1
園内研修「発達障害のあるこどもたちの理解と支援」	明石学園	9月12日	20
全国児童自立支援施設職員研修	米子市文化ホール	9月17～19日	4
こども家庭センター実務研修	中央こども家庭センター 西宮こども家庭センター	10月6～10日 11月17～21日 1月19～23日 2月2～6日 2月16～24日	5
園内研修「様々な事例を挙げて発達障害の特性と理解を深める」	明石学園	10月9日	18
近畿児童自立支援施設協議会 「女性職員研修」	京都府立淇陽学校	10月31日	1
オンライン研修「社会的養護におけるネットリテラシー研修」		11月17日	6
全国児童自立支援施設職員研修 「中堅職員研修」	国立武蔵野学院	11月18～21日	1
園内研修「児童自立支援施設における性問題行動への対応」	明石学園	11月27日	12
園内研修「矯正施設でのアプローチ」	明石学園	12月12日	20
西日本こども研修センターオンデマンド研修「こどもと共に性を育む」		12月28日	5

研 修 名	開 催 場 所	開催日	参加人数
近畿児童自立支援施設協議会 「後期研修」	神戸市立中央区文化センター	1 月 16 日	4
園内研修「児童家庭課の行政説明」	明石学園	1 月 23 日	21
園内研修「性問題事例検討会」	明石学園	2 月 24 日	12
国立武蔵野学院との合同学習会 「こどもの権利擁護について」	明石学園	3 月 9 日	14

(8) 実習生の受入状況(令和7年度)

保育士や社会福祉士の実習生及び、インターンシップやこども家庭センター新任職員を受入れ、児童自立支援をはじめとする児童福祉分野の担い手の養成を支援している。

大 学 名	実 習 内 容	実習期間	受入人数
兵庫大学	保育実習Ⅲ	10 日間	3
	施設実習	1 日間	1
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	24 日間	1
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	12 日間	2
	保育実習	10 日間	2
関西国際大学	ソーシャルワーク実習Ⅱ	18 日間	1
神戸学院大学	社会福祉実習	24 日間	1
	施設実習	1 日間	3
関西福祉大学	ソーシャルワーク実習Ⅱ	23 日間	1
計(4大学)		123 日間	15

センター名	実 習 内 容	実習期間	受入人数
尼崎市子どもの育ち支援センター	職員実習	3 日間	3
兵庫県こども家庭センター	新任職員研修	1 日間	16
計(2センター)		4 日間	19

(9) 日 課

学園では毎日の規則正しい生活を通じて、児童に日常生活の規範を身につけるよう指導している。

＜令和8年度 日課表＞

曜日 時間	月	火	水	木	金	土	日
6:30			起 床				
			ランニング			7:30	
			掃 除			起 床	
			寮 周 辺 整 備			ランニング	8:00
8:00			朝食・登校準備			掃 除	起 床
						朝 食	ランニング
8:45	児童朝礼 (第1月曜日)		H R			寮 活 動	掃 除
9:00			1 校 時				朝 食
9:45			休 み 時 間				寮 活 動
9:55			2 校 時				
10:40			休 み 時 間				
10:50			3 校 時				
11:35			休 み 時 間				
11:45			4 校 時				
12:30			昼 食			12:30	12:30
						昼 食	昼 食
13:40			5 校 時				
14:25	掃除・HR		掃 除 ・ H R				
14:35	下 校	6 校 時	下 校	6 校 時		14:30	寮活動
15:10	クラブ活動		ク ラ ブ 活 動			クラブ活動	余暇活動
15:20		掃除・HR			掃除・HR		
15:35		下 校			下 校		
	男子	男子	男子	男子	男子	男子	
	野球	寮活動	美術	野球	野球	野球	
	陸上		陶芸	陸上	陸上	陸上	
	卓球		寮活動	卓球	卓球	卓球	
	女子	女子	女子	女子	女子	女子	
	バレー	バレー	茶道	バレー	エイサー	バレー	
	陸上 卓球	陸上 卓球	家庭科	陸上 卓球		陸上 卓球	
18:00			帰 寮				
			掃 除 ・ 夕 食				
			入 浴 ・ 自 習				
			余 暇 ・ 日 記				
22:00			就 寝				

※月曜日～金曜日の祝日の起床時間は7:30

(10) 年間行事予定(令和8年度)

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	水	辞令交付式 着任式	1	金	職員全体会議 連絡協議会	1	月	児童朝礼 写生会 おいしい会	1	水		1	土		1	火	
2	木		2	土	春季帰宅訓練	2	火		2	木	連絡協議会	2	日		2	水	
3	金	職員全体会議 連絡協議会	3	日	憲法記念日 春季帰宅訓練	3	水		3	金	職員全体会議	3	月		3	木	連絡協議会
4	土	保護者・関係 機関懇談会	4	月	みどりの日 春季帰宅訓練	4	木	連絡協議会	4	土		4	火		4	金	職員全体会議
5	日		5	火	こどもの日 春季帰宅訓練	5	金	職員全体会議	5	日		5	水	盆踊り会	5	土	
6	月		6	水	振替休日 春季帰宅訓練	6	土		6	月	児童朝礼	6	木		6	日	
7	火		7	木		7	日		7	火	近畿野球大会	7	金	職員全体会議 夏季帰宅訓練	7	月	児童朝礼
8	水	着任・始業・入 学式	8	金		8	月		8	水	近畿野球大会	8	土	夏季帰宅訓練	8	火	
9	木	課題実力テスト	9	土		9	火		9	木	近畿野球大会 (予備日)	9	日	夏季帰宅訓練	9	水	
10	金		10	日		10	水		10	金		10	月	夏季帰宅訓練	10	木	
11	土		11	月	児童朝礼	11	木		11	土		11	火	山の日 夏季帰宅訓練	11	金	
12	日		12	火		12	金		12	日		12	水	夏季帰宅訓練	12	土	
13	月		13	水	歯科健診	13	土		13	月		13	木	夏季帰宅訓練	13	日	
14	火		14	木	尿追検査 実力テスト(中3)	14	日		14	火		14	金	夏季帰宅訓練	14	月	修学旅行(小6)
15	水	内科健診	15	金		15	月		15	水		15	土	夏季帰宅訓練	15	火	修学旅行(小6)
16	木		16	土		16	火		16	木	サマーキャンプ	16	日	夏季帰宅訓練	16	水	
17	金		17	日		17	水	期末考査	17	金	サマーキャンプ	17	月		17	木	中間考査
18	土		18	月		18	木	期末考査	18	土		18	火		18	金	
19	日		19	火		19	金	期末考査 プール掃除	19	日		19	水		19	土	秋季帰宅訓練
20	月	心臓検診1次 (中1)	20	水		20	土	プール掃除	20	月	海の日	20	木	連絡協議会	20	日	秋季帰宅訓練
21	火		21	木		21	日	プール掃除	21	火	終業式	21	金		21	月	敬老の日 秋季帰宅訓練
22	水	尿検査	22	金		22	月		22	水	ケース研究	22	土		22	火	国民の休日 秋季帰宅訓練
23	木		23	土		23	火		23	木		23	日		23	水	秋分の日 秋季帰宅訓練
24	金	近児協委員会	24	日		24	水		24	金		24	月		24	木	
25	土		25	月	脊柱1次検診 (中1) 眼科健診	25	木		25	土		25	火		25	金	ケース研究
26	日		26	火	尿再検査	26	金	授業参観 進路説明会	26	日	盆踊り練習	26	水		26	土	
27	月	ケース研究	27	水	ケース研究	27	土		27	月		27	木		27	日	プール納め
28	火	本監査	28	木	耳鼻科健診 (中1)	28	日		28	火		28	金	始業式 園内水泳大会	28	月	トライやる
29	水	昭和の日	29	金	体育祭	29	月	プール開き	29	水		29	土		29	火	トライやる
30	木		30	土		30	火	ケース研究	30	木		30	日		30	水	トライやる
			31	日					31	金		31	月	課題実力テスト ケース研究			
備考									7月末インターネット研修(23/24)			8月初 明石市野球大会 8月末 近畿水泳交流会					

※第2、第4土曜日 共同作業

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
1	木	トライやる 連絡協議会	1	日		1	火		1	金	元日 冬季帰宅訓練	1	月	児童朝礼	1	月	児童朝礼
2	金	トライやる 職員全体会議	2	月	児童朝礼	2	水		2	土	冬季帰宅訓練	2	火		2	火	
3	土		3	火	文化の日	3	木	連絡協議会	3	日	冬季帰宅訓練	3	水		3	水	
4	日		4	水	実力テスト(中3)	4	金	職員全体会議	4	月	冬季帰宅訓練	4	木	連絡協議会	4	木	連絡協議会
5	月	児童朝礼	5	木	連絡協議会	5	土		5	火		5	金	職員全体会議	5	金	職員全体会議
6	火		6	金	職員全体会議	6	日		6	水		6	土	近畿卓球大会 (女子)	6	土	
7	水	秋祭り	7	土		7	月	児童朝礼	7	木	始業式 連絡協議会	7	日		7	日	
8	木		8	日		8	火		8	金	課題実力テスト 職員全体会議	8	月		8	月	
9	金		9	月		9	水		9	土		9	火		9	火	
10	土		10	火		10	木		10	日		10	水		10	水	
11	日		11	水	学園祭	11	金		11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	公立入試
12	月	スポーツの日	12	木		12	土		12	火		12	金		12	金	
13	火		13	金		13	日		13	水		13	土		13	土	
14	水		14	土		14	月	修学旅行(中3)	14	木		14	日		14	日	
15	木		15	日		15	火	修学旅行(中3)	15	金	スキー学習 (中2以下)	15	月		15	月	
16	金		16	月		16	水	修学旅行(中3)	16	土		16	火	ケース研究	16	火	
17	土		17	火		17	木		17	日		17	水	学年末考査	17	水	卒業式
18	日		18	水	期末考査	18	金		18	月		18	木	学年末考査	18	木	公立合格発表
19	月		19	木	期末考査	19	土	餅つき会	19	火		19	金	学年末考査	19	金	
20	火		20	金	期末考査	20	日		20	水		20	土		20	土	
21	水		21	土		21	月		21	木		21	日		21	日	春分の日
22	木		22	日		22	火	ケース研究	22	金		22	月		22	月	振替休日
23	金	近畿バレー ボール大会	23	月	勤労感謝の日	23	水		23	土		23	火	天皇誕生日	23	火	
24	土		24	火		24	木	終業式 クリスマス会	24	日		24	水		24	水	修了式 ケース研究
25	日		25	水	ケース研究	25	金		25	月		25	木		25	木	
26	月		26	木		26	土	冬季帰宅訓練	26	火		26	金	持久走大会 お疲れさま会	26	金	
27	火		27	金	近畿駅伝大会	27	日	冬季帰宅訓練	27	水	ケース研究	27	土		27	土	
28	水		28	土		28	月	冬季帰宅訓練	28	木		28	日		28	日	
29	木		29	日		29	火	冬季帰宅訓練	29	金					29	月	
30	金	ケース研究	30	月		30	水	冬季帰宅訓練	30	土	近畿卓球大会 (男子)				30	火	
31	土					31	木	冬季帰宅訓練	31	日					31	水	
備 考																	

4 学校教育の実施

(1) 明石市立魚住中学校 分教室

① 教育目標

ア 教育目標 『自調自立 ～自分で調整して行動できる～』

イ 教育実践の基本方針

- ・問題を発見・解決するための論理的思考力を身につけさせる。
- ・主体的に学習に取り組む姿勢を身につけさせる。
- ・他人を尊重するためのコミュニケーション能力を身につけさせる。
- ・想像力・表現力を身につけさせる。

② 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間授業数

区分	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語	道徳	特活	総合	合計
1年	4	3	4	3	1	2	3	2	4	1	1	1	29
2年	4	3	3	4	2	1	3	2	4	1	1	1	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	2	4	1	1	1	29

- ・学習指導要領上の時間数との相違は、後半(3学期)に特別時間割で修正する。
- ・総合の時間内で補充をおこなう。

(2) 明石市立清水小学校 分教室

① 教育目標

ア 教育目標 『子どもたちの夢が育つ学校』

イ 教育実践の基本方針

- ・確かな学力の育成
- ・豊かな人間性・社会性の育成
- ・健やかな体の育成

② 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間授業数

区分	国語	算数	理科	社会	音楽	図工	体育	家庭	道徳	特活	総合	外国語	合計
5年	5	5	3	3	1	2	3	2	1	1	1	2	29
6年	5	5	3	3	1	2	3	2	1	1	1	2	29

- ・学習指導要領上の時間数との相違は、学期ごとに特別時間割で修正する。

5 令和7年度の実績

(1) 月別在籍人数の年度推移(初日現在)

単位: 人

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
R3	男	27	29	33	36	37	36	37	39	39	36	37	38	424
	女	5	5	7	7	8	8	8	8	9	9	8	9	91
	計	32	34	40	43	45	44	45	47	48	45	45	47	515
R4	男	23	26	30	29	30	30	29	28	29	32	34	34	354
	女	2	2	4	4	4	4	5	6	7	7	7	8	60
	計	25	28	34	33	34	34	34	34	36	39	41	42	414
R5	男	23	25	26	28	28	27	30	36	38	37	39	41	378
	女	4	5	6	6	7	7	7	7	9	10	11	11	90
	計	27	30	32	34	35	34	37	43	47	47	50	52	468
R6	男	28	27	28	31	32	31	32	33	35	35	37	38	387
	女	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	117
	計	37	36	37	41	42	41	42	43	45	45	47	48	504
R7	男	28	31	33	34	35	39	41	41	42	41	41	42	448
	女	6	6	7	7	9	9	10	10	11	11	10	11	107
	計	34	37	40	41	44	48	51	51	53	52	51	53	555

(2) 月別実人数の年度推移(初日現在)

単位: 人

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
R3	男	27	29	33	36	35	36	37	39	39	35	36	36	418
	女	5	5	7	6	7	8	8	8	9	8	8	9	88
	計	32	34	40	42	42	44	45	47	48	43	44	45	506
R4	男	23	25	29	26	28	29	28	28	28	32	34	34	344
	女	2	2	4	4	4	4	5	6	7	7	7	8	60
	計	25	27	33	30	32	33	33	34	35	39	41	42	404
R5	男	23	25	25	27	27	26	29	35	36	34	36	38	361
	女	4	5	6	6	7	7	7	7	9	10	11	11	90
	計	27	30	31	33	34	33	36	42	45	44	47	49	451
R6	男	26	26	27	30	31	30	32	32	35	33	36	37	375
	女	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	117
	計	35	35	36	40	41	40	42	42	45	43	46	47	492
R7	男	28	31	32	34	34	38	41	41	42	40	41	42	444
	女	6	6	7	7	9	9	10	8	10	10	10	11	103
	計	34	37	39	41	43	47	51	49	52	50	51	53	547

(3) 学年別在籍人数の年度推移(各年度3月1日現在)

単位:人

区 分		小 学 生					中 学 生				高校生等	合 計
		3年	4年	5年	6年	小 計	1年	2年	3年	小 計		
R3	男	1			3	4	6	10	16	32	2	38
	女				1	1	1	2	5	8		9
	計	1			4	5	7	12	21	40	2	47
R4	男	1	1			2	10	9	12	31	1	34
	女						4	1	3	8		8
	計	1	1			2	14	10	15	39	1	42
R5	男		1		2	3	6	16	13	35	3	41
	女			1	1	2		6	3	9		11
	計		1	1	3	5	6	22	16	44	3	52
R6	男			1	1	2	7	10	16	33	3	38
	女				1	1	1	1	6	8	1	10
	計			1	2	3	8	11	22	41	4	48
R7	男			1	3	4	7	10	15	32	6	42
	女						1	4	3	8	3	11
	計			1	3	4	8	14	18	40	9	53

(4) こども家庭センター別入所人数の年度推移(各年度末現在)

単位:人

区 分		中 央	尼 崎	西 宮	川 西	加 東	姫 路	豊 岡	県所轄外	合 計
R3	男	3	4	1	5	2	4		2	21
	女	2		2					2	6
	計	5	4	3	5(2)	2	4(3)		4(2)	27(7)
R4	男	3	9	3	10	3	3		3	34
	女	2		1			1		4	8
	計	5(1)	9(2)	4	10(3)	3(1)	4(1)		7(2)	42(10)
R5	男	3	6	6	6	2	2		3	28
	女	4			1		3		1	9
	計	7	6	6(1)	7(1)	2	5(1)		4(1)	37(4)
R6	男	5	3	4	7	2	3		4	28
	女	1	1		1		3			6
	計	6	4	4	8(1)	2	6		4	34(1)
R7	男	5	3	5	5	3	2	1	4	28
	女	1	2		1		3		1	8
	計	6(2)	5(2)	5	6(1)	3	5	1(1)	5	36(6)

()は家裁決定

(5) 在籍児童の入所時の学年別人数(令和8年3月1日現在)

単位:人

区 分	小 学 生						中 学 生				中 卒	合 計
	2年	3年	4年	5年	6年	小 計	1年	2年	3年	小 計		
男				1	3	4	7	10	15	32	6	42
女							1	4	3	8	3	11
計				1	3	4	8	14	18	40	9	53

(6) 在籍児童の入所理由別人数(令和8年3月1日現在)

単位:人

区 分	家出 浮浪	窃盗	恐喝 暴力	強盗 傷害	性的 非行	自家 金品 持出	怠学	施設 不適応	里親 不適応	弄火 放火	親子 関係 不良	薬物 乱用	虐待	その他	合計
男		9	7	1	13	1	1	6			2			2	42
女		2	1		3	1					2			2	11
計		11	8	1	16	2	1	6			4			4	53

(7) 在籍児童のこども家庭センター・出身地別人数(令和8年3月1日現在)

単位:人

区 分	出 身 地	人 員			区 分	出 身 地	人 員		
		男	女	計			男	女	計
中 央	高砂市	1	2	3	西 宮	西宮市	5	1	6
	加古川市	3	1	4					
	南あわじ市	1		1					
	播磨町	1		1					
	計	6	3	9		計	5	1	6
姫 路	姫路市	4	2	6	尼 崎	尼崎市	5	2	7
	宍粟市	1		1		(姫路市)	1		1
	市川町		1	1					
	(神戸市)	1		1					
	計	6	3	9		計	6	2	8
加 東	西脇市	1		1	豊 岡	香美町	1		1
	三木市	2		2					
	計	3		3		計	1		1
川 西	伊丹市	3	1	4	県 所 轄 外	神戸市	3		3
	宝塚市	4		4		明石市	2	1	3
	川西市	1		1		京都府	1		1
	(明石市)	1		1					
	計	9	1	10		計	6	1	7
					合 計		42	11	53

(8) 在籍児童の保護者の状況(入所時)(令和8年3月1日現在)

単位:人

区 分	実父 実母	実父 のみ	実母 のみ	実父 養母	養父 実母	養父 養母	祖母 のみ	曾祖母 のみ	不在	合 計
男	14	2	13	1	9	1		1	1	42
女	5	1	2	1	2					11
計	19	3	15	2	11	1		1	1	53

(9) 在籍児童の被虐待状況の年度推移(各年度3月1日現在)

単位:人

区 分	ネグレクト	身体的	心理的	性的	合 計 A	虐待なし	在籍児童数 B	割 合 A/B
R3	4	22	3		29	18	47	62%
R4	6	19	3		28	14	42	67%
R5	8	27	5		40	12	52	77%
R6	6	20	10		36	12	48	75%
R7	5	27	9	2	43	10	53	81%

(10) 入所児童の障害等状況の年度推移(各年度末現在)

単位:人

区 分	ADHD	広汎性 発達障害	LD	軽度 知的障害	その他	合計 A	障害なし	在籍児童数 B	割 合 A/B
R3	9	4		1		14	13	27	52%
R4	4	7		2		13	15	28	46%
R5	4	9		6	5	24	13	37	65%
R6	7	14		4	2	27	7	34	79%
R7	5	13		9		27	9	36	75%

(11) 問題行動等報告の年度別内訳

区 分	無断外出	無外未遂*	喧嘩・暴力	対人関係不良 いじめ 威圧	盗み	喫煙	持ち込み*	薬物等吸引	器物破損	生活・授業等 指導不服従	刺青ピアス眉毛	物品交換等	手紙交換等	性的逸脱等	生活・授業等 迷惑行為	自傷行為	事故怪我等	身体接触	帰省・許外中*
R3	○	○	○	○					○	○	○	○	○		○	○		○	○
R4	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○		○	○	○		
R5	○	○	○	○	○			○	○	○		○		○	○			○	○
R6	○		○	○	○		○			○		○	○	○	○				○
R7	○	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○

*「無外」:無断外出

*「持ち込み」:許可されていない物の持ち込み

*「許外」:許可外出

(12)無断外出の発生状況の年度推移(各年度末現在)

単位:人

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
男	1	2	2	4	3	3	1	1	2	4
女	1	1							2	3
合 計	2	3	2	4	3	3	1	1	4	7

(13)退所児童の在籍期間の年度推移(各年度末現在)

単位:人

区 分		0.5年 未満	0.5 ～ 1未満	1 ～ 1.5未満	1.5 ～ 2未満	2 ～ 2.5未満	2.5 ～ 3未満	3 ～ 3.5未満	3.5年 以上	合 計
R3	男	1	7	6	6	2		1	1	24
	女		6	2	1					9
	計	1	13	8	7	2		1	1	33
R4	男	2	6	5	1	3	3	1	2	23
	女		2	2						4
	計	2	8	7	1	3	3	1	2	27
R5	男	2	6	2	7	1				18
	女		1	1						2
	計	2	7	3	7	1				20
R6	男		4	3	9	2	2		1	21
	女			3			2			5
	計		4	6	9	2	4		1	26
R7	男	3	5	4	3	3		1		19
	女		3	1		1				5
	計	3	8	5	3	4		1		24

(14)退所理由の内訳の年度推移(各年度末現在)

単位:人

区 分	自 立 支 援 達 成							自 立 支 援 未 達 成					合計
	進学	復学	就職	自立 就職	他施設	家庭 復帰	小計	家裁	他施設	家庭 引取	その他	小計	
R3	男	9	11			4	24						24
	女	4	2	1		2	9						9
	計	13	13	1		6	33						33
R4	男	12	3	1		4	20		1	2		3	23
	女	1	1			2	4						4
	計	13	4	1		6	24		1	2		3	27
R5	男	9	4			3	16		2			2	18
	女	2					2						2
	計	11	4			3	18		2			2	20
R6	男	11	4			5	20				1	1	21
	女	2	2			1	5						5
	計	13	6			6	25				1	1	26
R7	男	10	2	1		3	16	1	1	1		3	19
	女	2	1			1	4			1		1	5
	計	12	3	1		4	20	1	1	2		4	24

(15)中学卒業生進路の内訳の年度推移(各年度末現在)

単位:人

区 分		社 会 復 帰												継 続 在 園							総数					
		進 学							就 職					そ の 他	進 学			就 職		園内						
		全日制高校			定 時 制 高 校	専 門 各 種 学 校	職 業 訓 練 校	特 別 支 援 学 校	通 信 制 高 校	多 部 制 高 校	家 庭 復 帰	自 立 住 込 就 職	定 時 制 高 校		通 信 制 高 校	全日制高校			定 時 制 高 校			特 別 支 援 学 校	多 部 制 高 校	就 職 通 勤	通 信 制 高 校	園 内 指 導
		公立	私立	計												公立	私立	計								
R3	男	5	9	14				1		1			()												2	18
	女		3	3					1	1			()													5
	計	5	12	17				1	1	2			()												2	23
R4	男	5	2	7					2	1			()					2								12
	女	3		3									()													3
	計	8	2	10					2	1			()					2								15
R5	男	3	3	6				1	1	1			()			1		1						1		11
	女		2	2									()											1		3
	計	3	5	8				1	1	1			()			1		1						2		14
R6	男	4	4	8		1		2		1			()			2		2						1		15
	女		2	2				1					()			2	1	3								6
	計	4	6	10		1		3		1			()			4	1	5						1		21
R7	男	6	5	11							1		()					1	1							14
	女		1	1					2				()													3
	計	6	6	12					2		1		()					1	1							17

()は再掲

6 行事・クラブ活動

(1)主要行事等一覧(令和7年度)

月	日	内 容
4	1	辞令交付式・着任式
	5	保護者・関係機関懇談会
	8	1学期始業式・中学校入学式
5	3	春季帰宅訓練(～6)
	15	実力テスト
	16	写生会・おいしい会
	23	大阪万博観覧
	23	県児童養護連絡協議会総会
	26	トライやるウィーク(～30)
6	6	授業参観・進路説明会
	19	心肺蘇生法講習
	18	期末考査(～20)
	27	プール開き
	30	サマーキャンプ前衛生講習会
7	4	漢字検定
	9	近畿児童自立支援施設野球大会(～10)
	16	サマーキャンプ(～17)(いえしま自然体験センター)
	18	1学期終業式
	28	インターネット研修
8	4	明石市野球大会(～7)(県立明石公園)
	6	盆踊り会
	8	夏季帰宅訓練(～17)
	28	2学期始業式
	28	園内水泳大会
	29	エイサー強化練習(～31)
	29	実力テスト

5 月



おいしい会



大阪万博観覧

7 月



サマーキャンプ

8 月



園内水泳大会



エイサー強化練習

月	日	内 容
9	1	薬物乱用防止教室
	7	野球観戦(京セラドーム)
	18	中間考査
10	3	体育祭
	8	秋祭り
	18	兵庫県下児童福祉施設入所児童バレーボール大会 (三木山総合公園)
	24	近畿児童自立支援施設女子バレーボール大会 (明石中央体育館)
	25	漢字検定
	27	修学旅行(～29)(沖縄県)
11	4	中3実力テスト
	12	学園祭
	19	期末考査(～21)
	28	近畿児童自立支援施設駅伝大会 (滋賀県希望が丘文化公園)
	30	近隣地区親善バレーボール大会
12	8	小学生修学旅行(伊勢・鳥羽)
	24	2学期終業式
	24	クリスマス会
	25	餅つき会
	26	冬季帰宅訓練(～1/4)
1	7	3学期始業式
	15	寮代表者会議(～30)
	31	近畿児童自立支援施設男子卓球大会 (阿武山学園)
2	6	漢字検定
	10	私立高校入試
	18	学年末考査(～20)
	27	持久走大会、クラブお疲れ様会
3	12	県内公立高校入試
	18	明石学園小・中学校卒業式
	19	公立学校合格発表
	24	修了式

10 月



体育祭



秋祭り



修学旅行

2 月



クラブお疲れ様会

3 月



修了式

(2) クラブ活動の成績（近畿・全国大会）

区 分	野 球		女子バレーボール	駅 伝		卓 球	
	近 畿 ※	全国 ※		男 子	女 子	男 子	女 子
令和 2 年度	1 回戦敗退		第 3 位	準優勝	準優勝	(中止)	
	(大阪市)		(京都府)	(滋賀県)			
3 年度	第 3 位		予選リーグ敗退	準優勝	不参加	(中止)	
	(大阪府)		(大阪市)	(滋賀県)			
4 年度	1 回戦敗退		予選リーグ敗退	第 5 位	第 4 位	第 3 位	不参加
	(和歌山県)		(神戸市)	(滋賀県)		(大阪市)	
5 年度	1 回戦敗退		第 4 位	第 5 位	準優勝	第 4 位	第 5 位
	(京都府)		(和歌山県)	(滋賀県)		(神戸市)	
6 年度	第 3 位		準優勝	第 3 位	第 2 位	第 4 位	不参加
	(三木市)		(大阪府)	(滋賀県)		(明石市)	(京都府)
7 年度	1 回戦敗退		予選リーグ敗退	第 4 位	不参加	第 3 位	不参加
	(滋賀県)		(明石市)	(滋賀県)		(大阪市)	

(注)・() 書きは開催地

・令和2年度、3年度の全国野球大会及び近畿卓球大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・令和4年度の卓球女子は、コロナ感染のため不参加

※近畿、全国は、近畿児童自立支援施設協議会、全国児童自立支援施設協議会を指す。



学園歌『波の彼方に』

作詞 梶輪喜一
作曲 山手照夫

♩ = 114 明るくいきいきと

mf

み ろ よ み よ み よ . ち へ い の か な た

f

あ さ だ ひ か り だ も え た つ く も だ

mf

か た に か つ い だ く わ の は き き が

f

き よ う き た た え て き ら り と ひ か る

p *ff*

ひ か り あ か る い し あ わ せ の そ の - あ

f

あ - わ れ ら の わ れ ら の あ か し が く え ん

学園歌『波の彼方に』

一、 見ろよ 見よ見よ 地平の彼方

朝だ 光だ 燃え立つ雲だ

肩に担いだ 鍬の刃先が

今日を讃えて キラリと光る

光 明るい 幸せの園

あゝ我等の 我等の 明石学園

二、 どんと やれやれ 精魂こめて

若い血潮だ 燃え立つ胸だ

心と体が がちり鍛え

明日に備える 揺がぬ力

力 培う 幸せの園

あゝ我等の 我等の 明石学園

三、 行けよ 行け行け 怒涛を越えて

負けて たまるか 燃え立つ意地だ

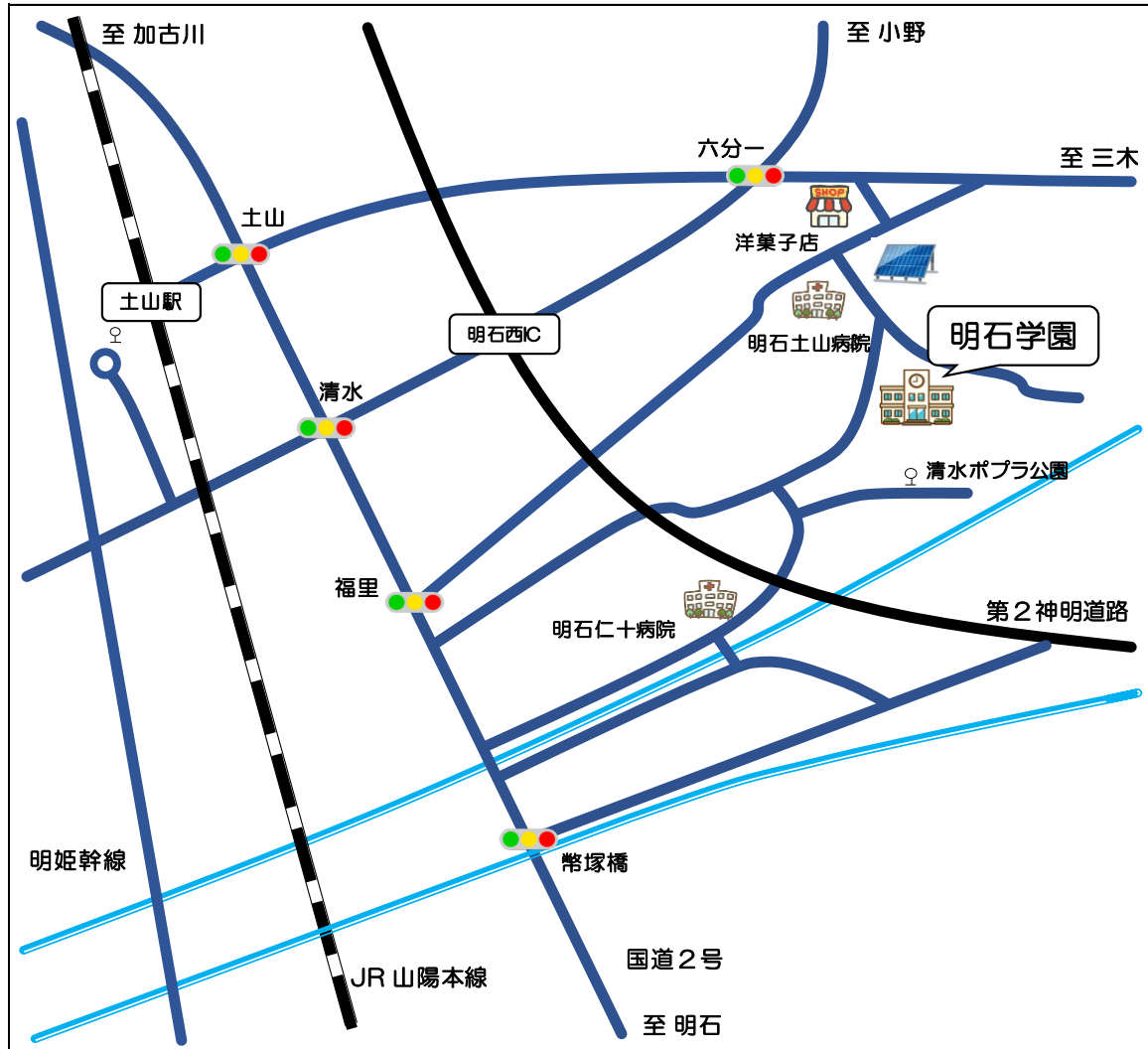
波の彼方に 輝くものは

胸に抱いた 明日の希望

希望果てない 幸せの園

あゝ我等の 我等の 明石学園

案 内 図



○交通

- ・ J R 土山駅から徒歩 30 分、タクシーで 10 分
- ・ J R 魚住駅からタクシーで 15 分
- ・ 明石西 I C から車で 5 分
- ・ J R 土山駅南口（東寄り）から明石市コミュニティバス（T a c o バスミニ）清水西ルートで「清水ポプラ公園」下車（バス 15 ～ 20 分）、徒歩 5 分

兵庫県立明石学園

〒674-0074

兵庫県明石市魚住町清水 2 7 4 4

TEL 0 7 8－9 4 2－1 5 7 2

FAX 0 7 8－9 4 1－1 2 6 4

E-mail Akashigakuen@pref.hyogo.lg.jp